

# 令和2年度 佐世保市当初予算の概要

～ 圏域の活性化と健全財政の両立 ～

令和2年2月

佐世保市



# I 予算編成にあたって

## 1 基本方針

本市の令和2年度の予算編成におきましては、時代の変化や課題に的確に対応する「まちづくりの設計図」として策定した第7次佐世保市総合計画の方向性に沿って取り組むとともに、「圏域の活性化と健全財政の両立」を掲げ、改革を進めつつ、財源の重点的な配分に努めたところです。

予算編成に際しては、社会保障や教育など市民生活の基盤を支える施策について所要の財源を確保したうえで、第7次総合計画が目指すまちづくりの方向性である4つの都市像（「しごと」「ひと」「まち」「くらし」）を牽引する「8つのリーディングプロジェクト」などに財源を優先配分するなど、「選択と集中」の徹底による戦略的財源配分に取り組みました。

また、本市を含む周辺の11市町で構成する「西九州させぼ広域都市圏」についても、都市圏ビジョンの中心市としての役割を果たしながら、圏域の成長と生活機能向上を目的とした連携事業を実施していくこととしております。

## 2 予算編成の考え方

予算編成にあたっては、財政計画に基づく予算フレームを設定したうえで、部局長マネジメントのもと、成果向上とコスト縮減の実現を目指します。

また、将来に向けた安定した財政運営を目指し、今から改革を行う必要があるため、「第6次佐世保市行財政改革推進計画」に掲げる改革改善を行うことで、財政の健全化を図るとともに、改革改善により生じた財源を事業の「選択と集中」により、効果的に投資することで、本市の経済活性化と市民生活の満足度向上につなげていく、「行政経営戦略サイクル」の推進を図っています。

## (1) 第7次総合計画に沿った予算編成

- それぞれの都市像実現に向けた重点的な取組に財源を重点配分
  - ☛ “新たな時代への挑戦”
    - ・まちづくりの方向性に沿った確実な事業展開
    - ・リーディングプロジェクトの推進
    - ・地域の実情や市民ニーズに応じた実効ある取組にも対応
    - ・総合計画に包含される「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の展開
    - ・西九州させば広域都市圏形成による圏域全体の活性化に向けた取組の推進
  - ☛ 財源配分の重点化
    - ・発展性、税収増が見込まれるもの、費用負担の軽減につながるものは優先配分
- 行政経営戦略サイクルの推進
  - ☛ 社会保障関係、教育など市民生活の基盤を支える政策は所要額を確保
    - ・既定方針の見直し、生活関連公共事業は一定確保
  - ☛ 成果向上とコスト縮減の実現
    - ・「選択と集中」の徹底による戦略的財源配分
- 部局長マネジメント
  - ☛ 部局長が中心となった部局の予算編成
    - ・部局長自らが部局の経営方針を策定、事務効率化などを指示・検討

## (2) 安定した財政運営を目指した改革の実現

- 行財政改革推進計画に沿った改革改善の推進
  - ☛ 将来の財源不足解消に向け、今から改革を行うことが不可避
    - ・事務事業の点検、見直しの重点化
    - ・サンセット方式による、新規、既存事業の点検・評価
    - ・適正な徴収目標を定め、収入増・徴収率増の検討及び未収債権の縮減
    - ・資産活用基本方針を踏まえた保有資産の有効活用
    - ・長寿命化計画「公共施設適正配置・保全基本計画」等に基づく計画的な維持管理の検討（国庫補助等も活用）
    - ・長期継続契約や債務負担行為の活用による工期の平準化、効率的な事業の進捗
    - ・他部局間での連携・統合など業務再編による効果及び効率性を最大化
  - ☛ 中長期の財政収支や後年度負担を考慮し、財政規律の堅持
    - ・予算フレームの設定、プライマリーバランスを意識した投資的経費の調整
  - ☛ 財源配分型予算編成方式と一件査定
    - ・3年ごとの一件査定（サンセット方式）による適正配分の実行

## Ⅱ 令和2年度当初予算の概要

(以下、数値の比較は令和2年度当初と令和元年度当初との対比によります。)

令和2年度の当初予算は、「一般会計」は1,208億4,764万円で社会保障関係費の増はあったものの、新西部クリーンセンター施設整備や低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業の終了、また、国際クルーズ拠点形成事業費の大幅減といった特殊事情もあり、前年度当初予算に比べ3.6%、44.6億円の減となりました。しかしながら、前述の特殊事情を除けば、前年度比5.9%増となっております。

「特別会計」は、781億713万円で、国民健康保険事業特別会計において、国民健康保険事業費納付金の減少に伴う減などにより、前年度当初予算に比べ1.3%の減となっております。

「企業会計」は、226億6,573万円で、下水道事業会計における事業費の減などにより、前年度当初予算に比べ1.8%の減となっております。

これらにより、本市の予算総額は2,216億2,050万円となり、前年度に比べ2.6%の減となっております。

新年度当初予算の特徴といたしましては、「8つのリーディングプロジェクト」として関連する27事業に21億7,610万円を計上するとともに、西九州させぼ広域都市圏形成による圏域の成長と生活機能向上を目的とした取組の推進として、22事業に2億3,201万円を計上しています。

その他、道路や公共施設改修などの生活関連公共事業については、35億5,733万円を計上しています。

(1) 一般会計は、44.6億円(3.6%)の減となっており、主な増減は下記のとおりです。

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ① 人件費の増            | 22.1億円 |
| 会計年度任用職員制度導入に伴う増など |        |
| ② 扶助費の増            | 10.9億円 |

障がい者自立支援費、私立幼稚園等運営事業費の増、生活保護費の減など

- ③ 積立金の増 6.9億円  
ふるさと佐世保元気基金積立金、財政調整基金積立金の増など
- ④ 普通建設事業費の減 △70.6億円  
新西部クリーンセンター整備事業費、国際クルーズ拠点形成事業費の減など
- ⑤ 物件費の減 △9.6億円  
会計年度任用職員制度導入に伴う減、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費の減、ふるさと納税推進事業費の増など
- ⑥ 貸付金の減 △3.1億円  
中小企業制度融資の減など

(2) 特別会計は、10.2億円(1.3%)の減となっており、主な増減は下記のとおりです。

- ① 住宅事業特別会計の増 2.8億円  
住宅建設費の増など
- ② 国民健康保険事業特別会計の減 △10.7億円  
国民健康保険事業費納付金の減など
- ③ 卸売市場事業特別会計の減 △1.9億円  
公債費の減など
- ④ 介護保険事業特別会計の減 △2.0億円  
保険給付費の増、国庫等精算返還金の減など
- ⑤ 後期高齢者医療事業特別会計の増 1.6億円  
後期高齢者医療広域連合納付金の増など

(3) 企業会計は、4.2億円(1.8%)の減となっており、主な増減は下記のとおりです。

- ① 水道事業会計の増 1.7億円  
資本的支出における事業費の増など
- ② 下水道事業会計の減 △6.0億円  
資本的支出における事業費の減など

## Ⅲ 一般会計予算の概要

### 1 財政

#### (1) 収支

##### ①財源調整としての基金繰入金

R2 33.5億円 ← R元 33.6億円

令和2年度は、通常の財源調整分25億円に加え、計画的に積み立てていた市場公募債償還への財源充当分6.0億円を基金から繰り入れています。その他地方創生の取組などへ2.5億円を繰り入れています。

当初予算段階での市場公募債償還等への積立0.6億円や、新たに地方財政措置がなされる地域社会再生事業分として2.0億円等を積み立てるとともに、年度末には前年度の歳計剰余金を見込んだ積戻しを行うこととしており、財源調整2基金の残高は91.8億円となる見込みです。

なお別途、施設整備基金から、本庁舎リニューアル工事等の財源として6.0億円を計画的に繰り入れています。

交付税における合併算定替の終了や更なる社会保障費の増などに対応できる、持続可能な財政運営の確保に向け、改革改善の推進と選択と集中による財源の効率的な配分に努めています。

##### ※財源調整2基金の年度末残高見込

R2 91.8億円 ← R元 95.4億円

(特殊要素を除いた残)

R2 83.5億円 ← R元 83.3億円

※財源調整2基金とは、「財政調整基金」と「減債基金」を指します。

※令和2年度末残高には、前年度剰余金見込み25億円の積み立てを含んでいます。

#### (2) 歳入

##### ① 一般財源総額 ※R2とR元 当初の年間見込み対比

R2 650.2億円 ← R元 637.9億円

(当初予算充当 646.9億円)

(当初予算充当 634.6億円)

令和2年度は、市税において、法人市民税の法人税割の税率引き下げによる影響はあるものの、個人住民税における給与所得者の賃金上昇や、固定資産税における家屋の新・増築の増などを見込み、前年度と同額の295億円となりました。

地方交付税や臨時財政対策債の総額は、前年度比1.6%減の280.3億円、地方消費税交付金は17.6億円の増となり、一般財源総額の見込みは、1.9%、12.3億円の増となっています。

## ② 地方債

発行額 79.4億円

地方債依存度 6.6%

年度末残高見込 1,016.6億円 うち臨時財政対策債 441.1億円

(前年度末残高見込 1,035.3億円 うち臨時財政対策債 449.9億円)

公債費元金償還金(98.1億円)から市債発行額(79.4億円)を差し引いたプライマリーバランスは18.7億円の黒字であり、市債の年度末残高はその分だけ減少します。

実質的な赤字地方債である臨時財政対策債の残高は、前年度より8.8億円減の441.1億円となりますが、市債残高の43.4%を占めています。

## (3) 歳出

### ① 「目的別」の状況

「総務費」では、基金造成費(+6.9億円)の増などで構成比が1.0ポイント増となっています。

「民生費+衛生費」では、民生費で、障がい者自立支援事業費(+7.6億円)や介護保険事業特別会計繰出金(+1.5億円)の増がありましたが、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費(△4.9億円)などが減となりました。衛生費では、新西部クリーンセンター施設整備事業費(△91.9億円)などで大幅な減となり、合わせた構成比は5ポイントの減となっています。



「農林水産業費＋土木費＋港湾費」では、土木費における九十九島観光公園整備事業費の増（＋3.7億円）や前畑崎辺道路整備事業費の増（＋3.0億円）などにより、構成比は0.9ポイント増となりました。

なお、「消防費」では、防災行政無線整備事業費の増（＋10.2億円）などにより、構成比が1.1ポイント増となりました。

### ③ 「性質別」の状況

「扶助費」は、生活保護費（△1.3億円）や児童扶養手当（△3.8億円）が減となりましたが、サービスの利用件数の増に伴う障がい者自立支援事業費の増（＋7.6億円）などもあり、構成比は1.9ポイント増加しました。

「普通建設事業費」は、新西部クリーンセンター施設整備費事業費の減（△91.9億円）などにより、構成比が5.3ポイント減少しています。

「義務的経費」は、会計年度任用職員制度導入による増等による人件費の増（22.1億円）や扶助費（＋10.9億円）が増となり、公債費（△2.9億円）の減となった結果、構成比が4.3ポイント増加しています。

目的別の状況（構成比）	元年度	2年度
総務費	8.8% →	9.8%
民生費＋衛生費	54.4% →	49.4%
農林水産業費＋土木費＋港湾費	9.5% →	10.4%
消防費	3.4% →	4.5%

性質別の状況（構成比）	元年度	2年度
扶助費	26.9% →	28.8%
普通建設事業費	16.0% →	10.7%
義務的経費 (人件費、扶助費、公債費)	50.3% →	54.6%

## 2 予算編成における改革改善について

### ◇ 歳出面の改革改善

(単位：億円)

事業費 (うち一般財源)

(A) 令和元年度当初予算額	1,253.11	(683.19)
① リーディングプロジェクト外・連携事業における新規・拡大	80.28	(22.51)
② ★ ムリ・ムダ・ムラの削減 (見積額の適正化、不用額の削減など)	▲9.70	(▲4.37)
③ ★ 目的の達成、公共関与の見直し等による削減	▲15.47	(▲9.84)
④ ★ サンセットによる削減	▲0.33	(▲0.30)
★ <u>改革改善効果 (②～④小計)</u>	<u>▲25.50</u>	<u>(▲14.51)</u>
⑤ 事業の終了	▲153.30	(▲16.80)
⑥ その他(自然増減など)	53.89	(22.19)
計 (①～⑥)	▲44.63	(13.39)
(B) 令和2年度当初予算額	1,208.48	(696.58)
(B) - (A) 前年度予算からの比較	▲44.63	(13.39)
【参考】 (C) 令和2年度当初予算要求額	1,250.82	(722.70)
(B) - (C) 要求額からの改革改善(削減)額	▲42.34	(▲26.12)

### ◇ 歳入面の改革改善(主なもの)

(単位：億円)

<u>令和2年度当初予算における改善効果額</u>	<u>6.9</u>	<u>(4件)</u>
① 基金繰入(施設整備基金)	6.0	(3件)
② 競輪事業収入繰入	0.9	(1件)

## IV 第7次総合計画におけるまちづくりの考え方

### 1 まちづくりの分野別取組

令和2年度から、時代の変化や課題に的確に対応する「まちづくりの設計図」として策定した第7次総合計画がスタートします。本計画をもとに、市民の皆様が安全で安心して、生きがいと幸せを実感できる暮らしをおくるための社会の実現を目指しています。

実現に向けた政策展開にあたっては、「挑戦」、「創造」、「多様性」、「共生」を総合計画の基本理念とし、その理念のもと「しごと」、「ひと」、「まち」、「くらし」の4つの分野で、市民の皆様と一緒に目指す都市像を明確に表したうえで、これらの政策について、行政として、しっかりと下支えする「行政経営」の方向性を示し、この5つの分野をもって、戦略的に、将来像の実現を図ります。

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環をしっかりと確立する政策を展開し、そして、新たな人の流れを生み出すことで、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる、暮らし続けられるまちへの好循環スパイラルを目指します。

#### 《4つの都市像》

- ◆ 「しごと」 「活力あふれる国際都市」
- ◆ 「ひと」 「育み、学び、認め合う『人財』育成都市」
- ◆ 「まち」 「西九州を牽引する創造都市」
- ◆ 「くらし」 「地域が社会を築く安心都市」

この4つの都市像の実現に向けた、令和2年度における主な取組と、下支えするための行政経営の目指す考え方を記載し、主な事業を一覧で記載しています。

なお、総合計画を牽引するための「リーディングプロジェクト」及び圏域全体の活性化を目的とした「西九州させば広域都市圏」に関しては、別途、記載していません。

## ① 「しごと」～活力あふれる国際都市

「しごと」の分野では、目指す社会状態のベンチマークとして、市内総生産や市内就職率を維持することとしています。

そのために、地域の特性を活かした各種産業の振興を図り、幅広い年代の雇用の増大と多様化を進め、これからの情報社会にも対応できる“豊かで元気なまちづくり”を目指すとともに、活力ある産業の育成により、中長期的には国際競争を勝ち抜く産業づくりを目指します。

「観光商工政策」では、将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を活かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力と賑わいにあふれるまちづくりの実現を図ります。

また、「農林水産政策」では、地域の特色を生かした「産品」と、元気な「担い手」の育成による農林水産業の活性化を図ります。

「企業立地政策」では、製造業及びオフィス系企業など魅力ある雇用を生み出す企業立地を実現させ、市外への人口流出抑制及びUJターンによる流入人口増加を図ります。

## ② 「ひと」～育み、学び、認め合う『人財』育成都市

「ひと」の分野では、目指す社会状態のベンチマークとして出生率を向上させるとともに、生涯学習を行う市民を増やすこととしています。

そのために、学力、体力、豊かな心、共感力等の育成に重きを置き、学校、幼児教育・保育施設、家庭、地域、企業、行政の連携を強化して、心豊かな人を育む“子育てしやすいまちづくり”を目指します。

「子ども未来政策」では、令和2年度を始期とする「第2期新させばっ子未来プラン」に基づき、「人財」育成の観点を重視し、子育て支援に係る様々な施策を展開することにより、子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまちを目指します。

「教育政策」では、学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ります。

### ③ 「まち」～西九州を牽引する創造都市

「まち」の分野では、目指す社会状態のベンチマークとして、都市部における人口密度の維持をはじめ、水の安定的な供給や公共下水道の普及率向上、道路アクセスの向上、水害・土砂災害から市民の命を守る社会基盤づくり、温室効果ガスの削減、佐世保港を利用する船舶数を増やすこととしています。

そのために、少子高齢化・人口減少社会に対応した、将来を見据えた計画的なまちづくりを進めるとともに、安全安心で快適な生活を守り、多様な交流を支えるまちづくりを進めるため、“地域に繋がるまちづくり”を目指します。

「都市政策」では、少子高齢化・人口減少社会における居住や都市機能の集積による「密度の経済」の発揮を通じて、生活利便性の維持・向上、地域経済の活性化、行政コストの削減を図ります。

「水道政策」では、公営企業として経済性を発揮しつつ、清浄で豊富低廉な水の供給及び下水道の整備を通じて、公衆衛生の向上と生活環境の改善、都市の健全な発達への寄与を図ります。

「土木政策」では、拠点間の連絡強化や、市民の日常生活や地域経済活動を支える道路ネットワークを充実させることにより、西九州させば広域都市圏の中核として活力あるまちづくりを推進し、また、激甚化・頻発化する自然災害などから市民の安全を守るための社会インフラの整備や、災害の危険箇所を周知することで、安全で安心なまちを築きます。

「環境政策」では、廃棄物の適正処理による生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、環境によい行動を自ら選び、取り組む「環境市民」を育成することで、持続可能な循環型のまちづくりを行います。

「港湾政策」では、佐世保港において、環境の保全に配慮しつつ、計画的な整備、適正な管理及び利用促進を行うことで、港湾の適正な利用と保全、本市の発展を図ります。

### ④ 「くらし」～地域が社会を築く安心都市

「くらし」の分野では、目指す社会状態のベンチマークとして、暮らしの安全・

安心を高める環境づくりのために、健康寿命の延伸、災害による被害の軽減、救急搬送者の生存率向上、災害から市民の命を守ることとしています。

そのために、市民生活分野においては、豊かな魅力を創出し、定住・移住したくなる“魅力あるまちづくり”を目指すとともに、福祉分野においては、医療・福祉の充実を図り、健康寿命を延ばすために、施設・地域・家庭・職場・行政などが共に連携し、健康で安心して暮らせる“福祉のまちづくり”を目指します。

「市民生活政策」では、身近な絆の象徴である地域コミュニティの活性化や、人を大切にし、支え合う仕組みづくりを進めるとともに、交通事故や消費者被害に遭わない環境整備の充実により、誰もがいつまでも安全・安心で快適に暮らせる市民生活の実現を図ります。

「保健福祉政策」では、健康を支える環境や地域医療の体制など、保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できる体制をつくり、地域共生社会を目指して、誰もが共に支え合い、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまちづくりの実現を図ります。

「消防政策」では、火災や自然災害並びに救急・救助に迅速かつ的確に対応するとともに、火災予防対策を推進することで、住む人と佐世保を訪れる人たちの安全・安心を守ります。

「防災危機管理政策」では、災害や緊急事態から市民の生命及び財産を守り、また防災関係機関と連携して、被害を最小限に抑える環境・体制を整え、災害や緊急事態に強いまちの実現を図ります。

## ⑤ 「行政経営」

「行政経営」においては、市民第一の視点による行政活動の効果を最大化するため、事業の目的と責任の明確化を図った上で、客観的な数値を用いた事業の組立てや事業内容を評価することで、市民への説明責任を果たします。

第7次総合計画におけるまちづくりの分野別 主な取組

(単位:千円)

担当部局	新規 拡充	事業名	事業概要	事業費	予算 説明 資料 P
しごと 『活力あふれる国際都市』				27,205,004	
観光商工部		観光客誘致促進事業	佐世保観光コンベンション協会ほか関係団体が実施する、広報宣伝、修学旅行誘致など	81,042	28
観光商工部		訪日外国人誘致事業	東アジア、東南アジアを中心としたシティセールス、観光プロモーションの実施。レンタカーを利用した外国人観光客向けの二次交通対策の実施など	15,961	28
観光商工部	拡充	観光地域づくり推進事業	佐世保観光コンベンション協会の体制整備のための補助のほか、江迎において整備した観光地域づくり拠点施設の運営補助 【拡充】長崎県の支援メニュー『「住んでよし・訪れてよし」の観光まちづくり応援事業』において採択された江迎地域の宿場町構想について、アクションプラン(計画)に基づき実施する事業を補助するもの。遊覧船事業、景観整備事業(格子戸、暖簾)、空き家リノベーションなど	119,357	28
観光商工部		広域連携による周遊観光の推進事業	マーケティング調査等経費(圏域内での観光客の満足度調査など)、インバウンド対策経費(FIT向けの、SNS等を活用したセールス活動など)	36,972	28
観光商工部		九十九島パールシーリゾート管理運営整備事業	九十九島パールシーリゾート(九十九島水族館、駐車場、ターミナルビル、ビジターセンター、園地)の管理運営経費、水族館長寿命化計画策定など	89,360	28
観光商工部		中小企業融資	中小企業への制度融資、保証料補給	3,523,000	27
観光商工部		中小企業融資利子補給事業	日本政策金融公庫から融資を受けた事業者へ、支払利子の一部支援	2,958	27
観光商工部		まちなか魅力向上事業	きらきらフェスティバル開催補助及び個店グループが実施する商業活性化に資する事業への支援	14,207	27
観光商工部	拡充	三川内焼振興	三川内焼の市内外へのPR、新たな販路獲得のために行われる取組への支援 【拡充】日本最大級の陶磁器見本市であるテーブルウェアフェスティバルにおける展示ブース拡大(4㎡→32㎡)	11,734	27
観光商工部		産業コーディネート事業	産業支援センターの管理・運営、異業種交流協会への運営補助	18,669	27
農林水産部		新規就農者支援事業	農業者の確保と中心的な担い手の育成に資する新規就農者に対する支援	6,860	24
農林水産部	拡充	産地化・ブランド化育成事業	いちご、菊、アスチルベのブランド力の向上と産地の拡大に資する取組への重点的な支援 【拡充】アスチルベの品目追加	15,296	24
農林水産部		農水産物等特産品販路拡大事業	連携市町における農水産物等特産品の販路拡大に向けた取組	30,146	24
農林水産部	拡充	畜産振興対策事業	「させぼ生まれ、させぼ育ち」の長崎和牛の認知度向上、消費拡大に資する取組への支援 【拡充】「させぼ生まれ、させぼ育ち」の長崎和牛のPR事業	1,595	24
農林水産部	新規	森林環境譲与税事業	私有林現況調査による森林情報の整備	26,170	25

(単位:千円)

担当部局	新規 拡充	事業名	事業概要	事業費	予算説明 資料 P
農林水産部	拡充	種苗生産事業	広域的な栽培漁業推進のための放流用種苗等の計画生産及び供給(新種苗:カワハギ) 【拡充】 カワハギ種苗試験生産	26,418	26
農林水産部	新規	水産センター機能強化事業	高付加価値種苗の研究開発による養殖漁業の振興および連携市町を含めた栽培漁業の拠点的作用を担うための施設整備	97,000	26
農林水産部		水産市場管理運営事業	水産市場の管理運営および水産加工団地の整備	234,088	39
		その他		22,854,171	
ひと 『育み、学び、認め合う「人財」育成都市』				29,646,968	
子ども未来部	拡充	子ども・子育て支援モデル都市化プロジェクト推進事業	子育てアイデアを実現する経費についての補助 【拡充】市内3大学向けのライフデザイン構築支援	2,476	20
子ども未来部	拡充	安心出産支援事業	離島からの健診等の交通費 【拡充】陣痛時のタクシー代の助成	530	23
子ども未来部		放課後児童健全育成事業	屋間、保護者がいない家庭の小学生への遊びと生活の場の提供	643,083	20
子ども未来部		保育所施設整備事業費	保育所4園の施設整備への支援	419,242	20
子ども未来部		保育士確保緊急対策事業	私立保育所及び認定こども園等における年度途中からの入所児童増に対応するための保育士人件費の支援	14,190	20
子ども未来部	拡充	新生児聴覚検査事業	新生児を対象とした聴覚検査の実施 【拡充】単価@1,500円から@2,500円に引上げ	4,495	23
子ども未来部	拡充	妊娠・出産包括支援事業	産前産後サポートの為にママサポーターの配置、産後ケア事業の実施。 【拡充】低所得者に軽減措置を実施	8,319	23
子ども未来部	拡充	私立保育所等運営費(施設型給付費)	私立保育所の運営費 【拡充】市単独施策として2子目副食費を助成	8,672,908	20
子ども未来部	拡充	私立幼稚園等運営費(施設型給付費)	私立幼稚園の運営費 【拡充】市単独施策として2子目副食費を助成	1,985,292	33
子ども未来部	拡充	私立幼稚園副食費助成事業	新制度未移行幼稚園への副食費の助成 【拡充】市単独施策として2子目副食費を助成	1,674	33
子ども未来部	拡充	公立保育所運営事業費	公立保育所の運営費 【拡充】市単独施策として2子目副食費を無償化	40,739	21
子ども未来部	拡充	公立幼稚園管理運営費	公立幼稚園の運営費 【拡充】市単独施策として2子目副食費を助成	26,599	35
子ども未来部		病児保育事業費	病気の為集団保育が困難な児童を一時的に看護を行う。市内5施設にて実施。	47,489	20
子ども未来部		福祉医療支給事業費	乳幼児、小中学生等の医療費の一部を支給	533,498	20
子ども未来部		子ども発達センター診療事業	子どもの発達に関する診察や検査を行う。	30,560	23



(単位:千円)

担当部局	新規 拡充	事業名	事業概要	事業費	予算 説明 資料 P
教育委員会	拡充	国際理解教育推進事業	・英語実践力を育成する事業(イングリッシュキャンプ)の実施 >対象:公立小学校4年生、中学生希望者 ・国際理解指導員(外国語指導員)の派遣 >新学習指導要領の完全実施に伴い、2年度から小学校3年生以上を対象に指導員派遣を行う(元年度は5年生以上) ・国際理解指導員(日本語指導員)の派遣 >外国籍等の日本語指導が必要な子どもたちが確かな学力を身に付けるために、2年度から派遣時間数を倍増(R1:35時間→R2:70時間)	20,592	33
教育委員会	拡充	小・中学校教育活動推進事業費	ICT機器を用いた授業の支援員を配置し、ICT教育を進めるうえでの課題の解決及び教職員のICT活用指導力の向上を図るもの 1校あたりの配置期間:3年間 2年度ICT支援員配置:61校	124,111	33
教育委員会	拡充	教育行政一般管理事業費	公立中学校の生徒の技能向上、教職員の負担軽減等を目的として、文化部活動に対して外部指導者の活用および専門指導者の派遣を行うもの。	33,765	33
教育委員会		学校再編推進事業費	佐世保市学校再編基本方針に基づき、地域とのつながりを含む通学区の見直し、学校規模の適正化、施設の老朽化対策などについての総合的・包括的な検討を行い、児童生徒の望ましい教育環境の確保を図るもの。	2,219	33
教育委員会	拡充	小学校施設整備事業費	学校施設の老朽化に伴う改築や長寿命化改修及び外壁改修などを行うことで、安全・安心な教育環境の確保を図るもの ・世知原小屋内運動場改築(建設工事) ・日野小校舎改築・長寿命化(解体工事、建設工事など) ・外壁(危険部位)改修(11校) ・仮設校舎整備(祇園小)	1,428,044	35
教育委員会	拡充	中学校施設整備事業費	学校施設の老朽化に伴う改築及び外壁改修などを行うことで、安全・安心な教育環境の確保を図るもの ・外壁(危険部位)改修(3校) ・清水中校舎改築(耐力度調査など)	150,273	35
教育委員会	拡充	プラネタリウム・天体観測室事業費	プラネタリウム・天体観測室の運営及び「プラネタリウム投映システム機器の更新」を行うもの 【拡充】プラネタリウム投映システム機器更新経費 59,000	64,624	34
教育委員会		いじめ・不登校対策事業費	いじめ・不登校等の問題を抱える児童生徒の支援を行うもの >心の教室相談員の配置(21人) >教育相談員の派遣 など	11,414	33
教育委員会	拡充	教育相談活動事業費	家庭・学校・地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の抱えている問題解決の支援を行うスクールソーシャルワーカー(SSW)について、定期的に学校巡回を行うもの >2年度からSSWの人数を6人(元年度:4人)に拡充する	38,126	30
教育委員会	拡充	地域未来塾事業費	小中学生を対象として家庭学習の習慣化、基礎学力の定着を目的とする学習教室を開催するもの >2年度から3中学校区(元年度:1中学校区)での実施	3,319	36
教育委員会	拡充	東京2020オリンピック等関係経費	・東京2020オリンピックに係る聖火リレーの実施 ・東京2020オリンピックに係るスペインハンドボールチームの事前キャンプ受入れ	31,058	36
教育委員会		吉井地区複合施設整備事業費	吉井地区公民館および吉井支所の令和2年5月供用開始に向けた管理等の準備を行うもの。外構舗装工事、公民館解体工事等の実施	111,469	36
		その他		15,196,860	
まち 『西九州を牽引する創造都市』				40,810,623	
都市整備部		都市計画決定経費	都市計画審議会の開催、立地適正化計画作成・検討、まちづくり検討業務	19,027	30

(単位:千円)

担当部局	新規 拡充	事業名	事業概要	事業費	予算説明 資料 P
都市整備部		建築物災害防止事業	老朽危険空家(住宅及び事務所など)除却費用に対する補助(防災・減災事業計画)、老朽危険空家緊急対策工事等に係る経費、住宅・建築物の耐震化への指導助言、戸建木造住宅の耐震診断、改修計画・工事費に対する補助	37,672	30
都市整備部	拡充	住宅政策推進事業	空き家バンク運営 3世代同居・近居促進補助(地方創生事業) 補助対象として、多子世帯(18歳未満の子どもが3人以上いる世帯)を追加	6,296	31
都市整備部	新規	斜面密集市街地対策事業 東山地区、戸尾・松川地区 福田・中通地区、矢岳・今福地区	移設補償・道路整備など 用地買収・建物補償・道路整備など 用地買収・建物補償・道路整備など 【新規事業】車みち整備事業(矢岳・今福地区)	227,793	30
都市整備部	新規	緑の基本計画策定業務	緑の基本計画策定業務(策定年度 R2~R3)	9,700	31
都市整備部	新規	虚空蔵山公園整備事業	虚空蔵山公園のトイレ整備	3,000	31
都市整備部	新規	公園施設長寿命化計画策定事業	公園施設長寿命化計画策定、公園施設再編方針策定	95,600	31
都市整備部	拡充	地籍調査事業	地籍調査業務 (閲覧)松山折橋地区 約 0.48km <sup>2</sup> (立会調査)白南風干尽地区 約 0.98km <sup>2</sup> 須田尾若葉地区 約 0.41km <sup>2</sup> (事前調査)木風地区 約 0.56km <sup>2</sup> 南風崎第一地区 約 0.85km <sup>2</sup> 【拡充内容】立会調査地区 1地区→2地区	130,566	30
都市整備部		公園施設改修事業	公園遊具等設置、公園便所等改修、水道施設改修、公園外構改修、公園電気施設改修、遊具点検に伴う改修など	54,252	31
都市整備部		市営住宅建替事業	泉福寺住宅4期、大黒住宅3期、新田住宅2期、花高1住宅2期、直谷住宅2期	1,291,101	38
水道局		水道施設整備事業	再構築、施設更新、老朽化対策など	3,832,108	43
水道局		公共下水道事業	施設整備、施設更新など	2,362,635	43
土木部	新規	交通安全施設等整備事業費	防護柵設置、カーブミラー、区画線等設置、未就学児の移動経路改善対策	66,000	16
土木部		単独改良(建設)	鶉渡越観光通線など 64線	546,185	29
土木部		道路維持工事	道路維持工事、除草・陰切り業務など	515,214	29
土木部	新規	地方創生道整備推進交付金事業	東山手上部線(L=78m) 橋梁設計、道路設計、道路改良工事	102,000	29
土木部		急傾斜地崩壊対策事業	・長坂(16)地区など 21地区における崩壊対策 ・土砂災害ハザードマップ作成、構造物補修、仮設防護柵設置など ・県営事業負担金 陣の内(2)地区など 28地区	501,955	30
土木部		単独河川改良事業	迎田川など 32河川	89,400	30
土木部		洪水ハザードマップ作成事業	洪水ハザードマップの改定(佐世保川)	17,000	30

(単位:千円)

担当部局	新規 拡充	事業名	事業概要	事業費	予算 説明 資料 P
環境部		環境教育・環境学習推進事業	どこでも環境教室、環境イベントの実施、地球温暖化防止活動推進センター(させぼエコプラザ)の運営など	11,345	22
環境部		浄化槽普及促進事業	浄化槽設置補助金(国庫補助分、市単独分)など	163,121	22
環境部		減量リサイクル推進事業	家庭系ごみの適正排出、資源集団回収事業に対する助成など	143,277	23
環境部		ごみ処理施設運営管理事業	ごみ処理施設(西部CC、東部CC、宇久清掃センター)の施設運営、維持管理など	1,662,115	24
港湾部		ポートセールス振興業務	佐世保港への寄港誘致、クルーズ客船寄港対応	10,044	31
港湾部		港湾施設保安対策維持管理	SOLAS条約に基づく港湾施設保安対策業務	154,379	31
港湾部		三浦地区みなとまちづくり計画賑わい促進事業	旧万津ターミナルビル解体にかかる下水道・ガス管撤去、鯨瀬ふ頭における港湾施設の再編事業の検討	5,489	42
		その他		28,753,349	
くらし 『地域が社会を築く安心都市』				102,149,809	
市民生活部		地区自治協議会活動活性化推進事業	町内会等の活性化やしない27地区公民館を拠点とした地区自治協議会運営支援、コミュニティセンター化への準備	88,749	17
市民生活部		婚活サポート推進事業	結婚を希望する独身男女に対しての結婚相談やお見合い支援	7,800	18
市民生活部		交通安全教育事業費	幼児・高齢者を対象とした交通安全教育の開催	57,849	16
保健福祉部		避難行動要支援者支援事業費	災害時に支援が必要な避難行動要支援者(高齢者・障がい者等)が、地域の中で必要な支援を受けられるような体制を整備	7,127	18
保健福祉部	新規	訪問型在宅レスパイト事業	医療的ケアが必要な障害者(児)を介助する家族の負担軽減を図るため、訪問看護事業所を活用した在宅でのレスパイトを実施	1,716	19
保健福祉部	新規	東京2020パラリンピック採火式事業費	東京2020パラリンピック開催に伴う、聖火(採火・集火)イベントの実施	2,200	19
保健福祉部	拡充	地域包括支援センター運営事業費	地域包括支援センターにおける、高齢者の自立支援の取り組みの強化 専門職種を5包括支援センターに1名増	261,746	40
保健福祉部		在宅医療・介護連携事業費	在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援の実施	29,149	40
保健福祉部		健康管理事業	国民健康保険被保険者に対する保健指導等を行い、健康の保持、増進を図るもの。	43,700	39
保健福祉部		地域医療推進事業費	地域医療推進のための取組 ・UJiタウン医師支援、医療政策推進行動計画検討 など	15,033	21
保健福祉部		救急医療推進事業費	初期、二次、三次救急医療体制を適正に機能させ、初期から三次までの切れ目ない救急医療体制の構築 ・病院群輪番制病院運営(10病院)、小児救急医療支援、輪番制病院施設・設備整備事業(3病院) など	114,035	21

(単位:千円)

担当部局	新規 拡充	事業名	事業概要	事業費	予算 説明 P
保健福祉部		健康寿命延伸プロジェクト事業費	健康経営の普及・啓発(官民連携)や「佐世保けんこうマンス」などの取り組みを通じた健康づくりのきっかけ提供、「させぼ健康ポイント事業」の実施 など	2,648	22
保健福祉部	新規	動物愛護管理拠点施設(仮称)建設事業	動物愛護法及び犬管理所の老朽化に対応するための施設整備にかかる経費(建築・電気設備・機械設備工事、外構設計など)	220,000	22
消防局		消防庁舎整備	西署佐々出張所建設(解体等)、江迎・鹿町出張所建設(本体内工事)など	239,998	32
消防局		自動車、機械整備	高規格救急自動車2台の購入	76,082	32
消防局		通信指令システム整備管理事業費	災害時119番受信から現場活動への指揮を行う通信指令システムの更新整備、維持管理を行う。	161,918	32
消防局		格納庫等建設整備(消防団適正配置)	第11分団(本団、分駐所)の格納庫建設にかかる用地購入、測量、試錐、実施設計。第49分団格納庫解体工事。	55,521	32
防災危機管理局		防災意識啓発事業	防災意識向上の為に災害自己診断シートの全世帯配布	6,871	32
防災危機管理局		地区防災計画策定推進事業	地区自治協議会の地区防災計画策定を支援及び地区自治協議会が行う防災活動費の補助	16,773	32
防災危機管理局		防災行政無線整備事業	デジタル式防災行政無線整備及び一部地域への戸別受信機の配付	1,015,500	32
		その他		99,725,394	
行政経営				20,833,069	
企画部	拡充	政策企画調整事業費	鹿町水道未普地域の解消に向けた設計など	24,292	15
企画部		連携中枢都市圏推進事業	連携中枢都市圏の推進にかかる経費	2,500	16
企画部		UJIターン促進事業	移住者増加を図るための各種補助金、若者を対象とした奨学金変換支援制度など	64,758	17
企画部		交通不便地区対策事業	乗合タクシー等の運行支援及び交通不便地区対策推進中通地区など10地区	16,862	16
企画部	拡充	公共交通活性化事業	「佐世保市地域公共交通再編実施計画」の次期計画策定検討	6,976	16
企画部		アルカスSASEBO運営等経費	アルカスSASEBOの管理運営及びNHK交響楽団佐世保講演等の記念事業	351,802	16
企画部		多文化共生推進事業費	在外外国人に対する様々な面からのサポートを担う「多文化共生ネットワーク」の構築	807	16
基地政策局		基地政策運営経費	前畑弾薬庫移転・返還など新返還6項目の推進	15,136	16
行財政改革推進局		行財政改革・地方分権推進事業費	「第6次佐世保市行財政改革推進計画」の後期プランの進捗管理	9,959	15
総務部		人材育成推進事業	様々な課題に対応した職員研修の実施や長崎県立大学大学院への職員の入学支援、自治大学校への1年間の長期派遣	18,190	15

(単位:千円)

担当部局	新規 拡充	事業名	事業概要	事業費	予算 説明資料 P
総務部		先進的ICT技術活用企画費	パソコンの操作を自動化するRPAツール及び音声の文字起こしをするAIの試行的導入、ICT技術の実証実験など	9,400	15
財務部		納税管理事業費	新たな納付手段であるクレジットカード納付等の導入や徴収体制の一元化の検討	31,663	17
財務部		施設適正配置事業費	「第1期公共施設適正配置・保全実施計画」の進捗管理及び第2期実施計画の策定	3,000	15
		その他		20,277,724	

総合計画に網羅されない事業群		計	975,022	
----------------	--	---	---------	--

合計 221,620,495

## 2 『8つのリーディングプロジェクト』 関連事業

地方創生を牽引し、新しい時代へ飛躍するための事業群を、先んじてリーディングプロジェクトとして推進してきており、これらの事業群は、地方創生と相まって、明日のSASEBOを創り出す重要戦略として位置づけています。

まず、1つ目の「クルーズ船入港体制整備」については、浦頭地区において、国土交通省や連携するカーニバルコーポレーションと一体となった港湾施設整備を進めており、令和2年度に供用を開始し、既存の三浦地区と合わせ、更なるクルーズ客船の受入れ強化を図ります。

増加するクルーズ船の受入れ態勢については、官民連携の組織「佐世保港クルーズ船ウェルカム協議会」を中心に、引き続き地域経済効果に繋げる取組の推進及び地域課題への対応をきめ細かく実施します。

また、ICTを活用したクルーズ船の観光バス予約管理システムの運用を行うとともに、渋滞緩和のための道路整備等を積極的に促進し、市内観光地とその周辺での渋滞や混雑の緩和を図ります。

2つ目の「俵ヶ浦半島開発」については、佐世保港から九十九島までを望む眺望の丘をメインコンテンツとした観光公園の整備をすすめるとともに、その公園を九十九島エリアの新たな観光拠点として位置付け、多くの人を俵ヶ浦半島に呼び込む「ゲートウェイ（入口）」として、地元で組織された地域振興組織「チーム俵」など地域の住民の方々の主体的な活動とも連携できるように進めます。

観光客用のレストラン施設や物産、観光体験施設の整備、さらには展望施設など、民間事業者からの事業提案を具体化しながら、交流人口増加への対応と俵ヶ浦半島地域の雇用の場づくりなど地域振興を図ります。

3つ目の「名切地区再整備」については、市民の憩いや交流の場のみならず、西九州させば広域都市圏の教育・文化・スポーツなどを象徴する場としての役割を十分に発揮できるよう「名切地区まちづくり構想」において、地区全体の土地利用の方針を定め、整備を進めてきたところです。

スポーツ広場や旧児童文化館周辺について、令和元年度にリニューアルに係る事業提案を公

募し、民間事業者から優れた提案を受け、その事業者を優先交渉権者として選定しております。令和2年度は、事業者と具体の調整を図りながら、令和4年4月の供用開始に向けて子どもの屋内遊び場をはじめ、事業を進捗させることとしています。

4つ目の「基地との共存共生」については、引き続き「新返還6項目」並びに崎辺地区の利活用を基調とした港のすみ分け実現に取り組んでいくとともに、前畑崎辺道路の整備について、地元住民の生活環境に大きな影響を及ぼす道路であることを認識し、早急な完成に向け、事業の推進を図ります。

5つ目の「特定複合観光施設（IR）誘致」については、令和2年度に、長崎県において、IR事業者の選定手続きを行う予定としており、上下水道の施設の調査及び整備方法の検討調査、その他都市計画上の整理事項の検討などの具体化を進めます。

また、ギャンブル依存症対策も含めた様々な懸念される要因の対策にも、県と連携した取組を行うとともに、市民の理解を深めるための活動も積極的に行います。

6つ目の「企業立地・新工業団地整備」については、昨年10月から分譲を開始している佐世保相浦工業団地の早期完売に向け、長崎県や長崎県産業振興財団との連携を図りながら、一日でも早い売却に向け、企業誘致活動を強力に展開します。

7つ目の「英語が話せる街 佐世保」については、社会全体のグローバル化が進むなかで、時代を切り拓き将来を担う人材を育むために、小・中学校における英語教育の充実、教職員の資質向上を図ります。

そのなかで、官民協働で取り組んでおります英語シャワー事業につきましても、参画者及び事業の一層の拡大に努め、市民が気軽に外国文化、英語に触れ学ぶことができる機会と、その学びを日常的に実践できる環境づくりを一層進めるため、令和2年度より新たに、英語を楽しく実践できるプログラムを持つ人材を講師として登録し、利用者の希望に応じてプログラムを届ける「English出前プログラム事業」を本格開始するとともに、公民館や放課後児童クラブなどを拠点に英語に親しむ機会を提供する「Englishステーション事業」を開始します。

8つ目の「世界で最も美しい湾クラブ加盟の九十九島・世界文化遺産・日本遺産の活用」については、加盟している国内4湾（松島、駿河、富山、宮津・伊根）と連携し、ゲストを交えた交流会等のイベントを九十九島パールシーリゾートで開催するなど、九十九島の魅力を国内外へ情報発信いたします。

さらに、本市の歴史的魅力や特色を伝える文化遺産を構成資産とする日本遺産や、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「黒島の集落」など、世界に通用する観光ブランドを活かしながら、御朱印巡りの実施などにより、滞在周遊型観光の実現を目指します。



# 令和2年度予算 リーディングプロジェクト

(単位:千円)

款	担当 部局	新規 拡充 継続	事業名	主な事業概要	事業費	予算 説明 書印
<b>全体事業費</b>					<b>2,176,098</b>	
<b>①クルーズ船入港体制整備</b>					<b>202,972</b>	
7	観光商工部	拡充	観光客誘致促進事業 (クルーズ船受入事業)	三浦地区の受入に加え、浦頭地区の供用開始に伴う、観光案内業務やツアーバス運行などにかかる経費	28,202	28
7	観光商工部	拡充	訪日外国人誘致事業	クルーズ船観光バス予約システム運用による受入態勢整備	17,776	28
9	港湾部	新規	大型客船対応基盤整備事業	ツアーバス駐車場整備(三浦地区)	28,000	31
9	港湾部	継続	佐世保港国際クルーズ拠点 形成事業	国際クルーズ拠点周辺環境整備(浦頭地区)	128,994	31
<b>②横ヶ浦半島開発</b>					<b>744,914</b>	
2	企画部	新規	計画行政推進事業	観光コンテンツ検討にかかる経費	4,700	15
8	都市整備部	拡充	九十九島観光公園整備事業	公園造成、官民連携施設整備	740,214	31
<b>③名切地区再整備</b>					<b>19,024</b>	
2	企画部	継続	政策企画調整事業	中心市街地まちづくり(名切中央公園整備)にかかる経費	250	15
8	子ども 未来部	継続	中央公園屋内遊び場整備 及び 管理運営事業	「名切地区まちづくり構想」に基づく中央公園における屋内での遊び場の整備	8,347	-
8	都市整備部	継続	中央公園整備事業 及び 公園管理運営事業	「名切地区まちづくり構想」に基づく中央公園の整備	10,427	31
<b>④基地との共存共生</b>					<b>466,609</b>	
8	土木部	継続	前畑崎辺道路整備事業	道路整備(用地取得、改良工事等)	466,609	29
<b>⑤特定複合観光施設(IR)誘致</b>					<b>257,327</b>	
2	企画部	継続	特定複合観光施設(IR)推進事業	ハウステンボス地域への統合型リゾート誘致の実現に向けての活動経費	147,977	15
2	企画部	新規	都市インフラ検討事業(IR関連)	ハウステンボス地域への統合型リゾート誘致の実現に向けての上下水道施設の調査及び整備方法の検討	88,000	16
4	保健福祉部	新規	精神保健事業費(IR関連)	県が作成する「ギャンブル等依存症対策推進計画」に基づく依存症対策にかかる経費	4,755	23
8	都市整備部	新規	景観形成推進事業(IR関連)	ハウステンボス及び周辺地区についての重点景観計画策定	6,500	31
8	土木部	新規	県営事業負担金(IR関連)	県が実施するハウステンボス周辺地区における道路整備事業にかかる負担金	10,095	29
<b>⑥企業立地・新工業団地整備</b>					<b>346,624</b>	
7	企業立地 推進局	継続	企業誘致活動事業	トップセールス、企業訪問活動	11,916	28
7	企業立地 推進局	継続	企業立地奨励事業	奨励金交付 9社	303,168	28
工業 団地 特会	企業立地 推進局	継続	市営工業団地整備事業(相浦地区)	相浦地区新規工業団地整備(希少動物モニタリング調査、下水道負担金)	31,540	41
<b>⑦英語が話せる街 佐世保</b>					<b>17,790</b>	
11	教育 委員会	継続	国際理解教育推進事業等	英語実践力を向上させる事業の実施	8,704	33
11	教育 委員会	継続	英語シャワー事業	官民協働による英語学習関連事業の実施	9,086	36
<b>⑧世界で最も美しい湾クラブ加盟の九十九島・世界文化遺産・日本遺産の活用</b>					<b>120,838</b>	
7	観光商工部	継続	世界で最も美しい九十九島湾クラブ 推進事業	世界で最も美しい湾クラブ加盟を受けての九十九島PR展開	14,099	28
7	観光商工部	継続	観光客誘致促進事業 (九十九島誘客事業)	九十九島を中心とした広告宣伝	10,000	28
7	観光商工部	継続	世界遺産活用推進事業	黒島の観光客受入環境整備、世界遺産登録を活用した観光PR	13,333	28
11	教育 委員会	継続	世界遺産保存整備事業	景観整備や教会守設置、黒島天主堂改修、周知啓発など	50,971	35
7	観光商工部	継続	日本遺産活用推進事業	鎮守府、三川内焼を活用した観光客の誘致促進	11,830	28
11	教育 委員会	新規	日本遺産活用推進事業	鎮守府、三川内焼の保存整備、周知啓発	5,605	35
11	教育 委員会	新規	立神広場整備活用事業	立神広場の日本遺産・鎮守府の拠点施設としての整備	15,000	35

### 3 『西九州させぼ広域都市圏』 関連事業

昨年4月に、本市と周辺10市町による「西九州させぼ広域都市圏」を形成し、佐世保市が中心市として、リーダーシップの役割を果たすこととし、令和元年度における具体的な取組としては、地域電力会社である自治体PPSとして「西九州させぼパワーズ株式会社」を立ち上げ、利益を本市のみならず、連携市町へ拡大することにより、地域振興に繋げる仕組みを構築するとともに、連携市町の農水産物等の特産品の販路を拡大する取組や、移住対策を広域に拡大した移住サポートプラザの充実、ホームページ等の広報媒体を広域圏まで拡充する取組、広域圏サポーターの創出など、行政区域の枠を超え、経済の交流促進やふるさとの魅力を高め、誰もが暮らしたくなる地域となることを目指す取組を開始したところです。

令和2年度においても、西九州させぼ広域都市圏の人口規模と経済を維持するため、「都市圏における連携効果の拡大」を図ることとしており、農水産物等特産品販路拡大や、広域圏サポーターの創出などの各種事業に取り組むとともに、栽培漁業の広域連携の推進として、水産センター機能強化のための実施設計費などを計上しています。

# 令和2年度 西九州させぼ広域都市圏事業一覧

(単位:千円)

款	佐世保市 (担当課)	連携事業名	事業概要	事業費	予算説明 資料P
<b>ア 圏域全体の経済成長のけん引</b>					
② 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大					
6	農業畜産課	【重点事業】 農水産物等特産品販路拡大	・国内外(福岡、台湾、沖縄)での農水産物消費拡大連携イベント開催や、情報発信拠点(サイト・動画)設置による多様な情報を発信する。 ・消費地バイヤー、飲食店オーナー等への産地ツアー開催を通じて商談機会を創設する。	30,146	24
7	商工物産課	共同物産展の開催	・佐世保市の中心市街地で開催されている既存イベントを活用して、連携市町からの出展による共同物産展を開催し、圏域内での各市町の特産品の認知度向上と販路拡大に向けた支援を行う。	2,700	28
③ 戦略的な観光施策					
7	観光課	【重点事業】 広域連携による周遊観光の推進	・科学的なアプローチと専門人材投入による現状分析を行い、ターゲットを明確にしたインバウンドセールスを行うとともに、日本版DMOである佐世保観光コンベンション協会の基盤整備と機能を強化し、圏域内への周遊観光を促進する。	36,972	28
<b>ア 圏域全体の経済成長のけん引 計(3事業)</b>				69,818	
<b>イ 高次の都市機能の集積・強化</b>					
② 高等教育・研究開発の環境整備					
2	政策経営課	【重点事業】 大学等による地域課題解決に向けた研究の推進	・大学連携の広域展開を図るため、連携市町との定期的な会議開催による情報共有や、九州西部地域大学プラットフォームとの共同研究の実施。	1,565	15
<b>イ 高次の都市機能の集積・強化 計(1事業)</b>				1,565	
<b>ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上</b>					
① 生活機能の強化に係る政策分野					
地域医療					
4	医療政策課	地域医療の確保に関する取り組み	・初期から二次救急医療体制を守るための地域課題を抽出して検討を行い、市民への普及啓発も併せ地域医療を守るための取組みを行う。	3,210	21
介護					
介護 特会	医療政策課	在宅医療・介護連携推進	・圏域内の多職種が連携し、情報共有シートの共通化や、圏域内で統一した研修等、在宅医をサポートするための取り組みにより、圏域全体で支える仕組みづくりに取り組む。	2,658	40
福祉					
4	子ども発達 センター	療育機能の改善	・子ども発達センターが持つ情報やスキルを学習会等で発信し、市外療育関係者のスキル向上を図る。	157	23

# 令和2年度 西九州させぼ広域都市圏事業一覧

(単位:千円)

款	佐世保市 (担当課)	連携事業名	事業概要	事業費	予算説明 資料P
教育・文化・スポーツ					
2	文化振興課	子どものための音楽鑑賞体験教室	・小学校5年生全員を対象とした、プロのオーケストラ鑑賞体験「子どものための音楽鑑賞体験教室」を圏域へ拡大し、鑑賞機会の充実を図る。	9,702	16
2	島瀬美術センター	島瀬美術センター特別展	年に1度、美術史に刻まれる作家等の作品の展覧会を開催する。 ・広域連携地区の中学生に対しては、無料招待券を配布	18,300	16
11	図書館	図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)	・圏域の図書館職員を対象とした研修の共同開催や、図書館利用者を対象とした講習会を開催する。	294	36
11	図書館	図書館相互利用サービス(貸出・返却の配送サービス)	・圏域内図書館の相互利用(利用者登録・貸出)	710	36
11	図書館	図書館相互利用サービス(利用者登録・貸出し)	・圏域内利用者に提供するための図書資料購入	3,000	36
地域振興					
6	水産課 (水産センター)	【重点事業】 栽培漁業の広域連携	・水産センターを活用し、栽培漁業の推進による水産資源の維持・確保のため、関係市町への「余剰種苗の提供」から「計画生産」に移行し、種苗供給の安定化を目指す。 ・水産センターの機能強化のための改修に着手する。	101,757	26
2	政策経営課	【重点事業】 自治体PPS(新電力会社)による域内経済循環	・圏域内の公共施設への電力供給による収益を域内に留めるとともに、収益については圏域内各市町の課題解決に寄与する事業展開を図る。	210	15
6	水産課	新規漁業者等就業支援	・新規就漁者や若年漁業従事者等への研修(着業後の技術支援等)や、交流(親睦、情報交換)、情報提供(中古漁船情報等)を行う。	320	25
6	水産課	水産資源の増殖対策及び漁業生産環境等改善	・各市町が実施している栽培漁業(種苗放流)及び漁場環境調査等を共同して実施することで、接続する漁場全体の生産環境改善および漁業者の所得向上を図る。	4,375	25
災害対策					
10	防災危機管理局	防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上	・圏域職員の防災知識、技能等の資質向上のため、研修会・訓練等を企画	748	32
環境					
4	環境保全課	エコアクション21(事業所における環境マネジメントシステムの取得促進)	・圏域内事業者の環境意識の向上や環境活動につなげるため、事業者向けセミナー開催により、「エコアクション21」の普及に努める。	36	22
4	環境保全課	親子でエコチャレンジ(家庭における地球温暖化対策)	・圏域内の小学校や児童クラブと連携した環境意識の啓発事業の実施や、圏域内自治体担当者による環境意識啓発に係る状況取り組みの情報交換、ノウハウ共有を行う。	45	22

# 令和2年度 西九州させぼ広域都市圏事業一覧

(単位:千円)

款	佐世保市 (担当課)	連携事業名	事業概要	事業費	予算説明 資料P
② 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野					
地域内外の住民との交流・移住促進					
2	させぼ移住サ ポートプラザ	【重点事業】 広域圏サポーターの創出	・させぼ移住サポートプラザを事務局として、広域圏サポーター(応援隊)創出の取り組みを進め、移住へ繋げるための圏域の情報発信、サポーターのニーズに応じた個別移住体験ツアーの実施や、首都圏域での共同移住相談会を開催し圏域移住者の増を図る。	14,303	17
2	コミュニティ・ 協働推進課	婚活サポート推進	・各市町が共通して利用できる婚活マッチングシステムの構築によるお見合い支援や、各市町が実施する婚活イベント情報の共有化(一元化)と情報発信、婚活セミナー等の合同開催を行う。	707	18
③ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野					
人材の育成					
2	人権男女共 同参画課	男女共同参画推進啓発	佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」を拠点とし、講演会やセミナー等の企画や、各市町での出前講座の開催等、男女共同参画の意識啓発を推進する。	94	-
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 計(18事業)				160,626	

西九州させぼ広域都市圏事業(総合計)22事業			232,009	千円
------------------------	--	--	---------	----

# 《令和2年度予算／行政経営戦略サイクルイメージ》

